事前準備 ~ 証明書の申請から取得まで

		改版履歴	
版数	日付	内容	担当
V.1.1	2014/12/22	初版	NII
V.1.2	2015/5/15	中間CA証明書のファイル名を修正	NII
V.1.3	2015/12/11	サーバ証明書設定について注釈を追加	NII
V.2.0	2018/2/26	SHA1の記載内容の削除	NII
V.2.1	2018/7/9	DNのルールの修正 ECDSA対応を追加 IISにおけるCSR作成手順を追加	NII
V.2.5	2019/6/10	DNのルール(Locality Name)の修正	NII
V2.6	2020/1/30	誤植のある画像の差し替え	NII
V.2.7	2020/4/13	DNのルール(State or Province Name、Locality Name)の修正	NII
V.2.8	2020/7/15	DNのルール、TSVファイル形式のSTおよびLの値の説明、リンクの変更	NII
V.2.9	2020/12/22	サーバー証明書L、STを必須に修正 サーバー証明書OUの利用条件を修正	NII
V.2.10	2022/08/02	CSR作成からOUを削除	NII

目次

- 1.事前準備
- 2.鍵ペアの生成とCSRの作成(openssl)
 - 2-1 鍵ペアの生成
 - 2-2 CSRの生成
- 3.IISを利用したCSRの作成
 - 3-1 CSRの生成
 - RSAの場合
 - ECDSAの場合
- 4.証明書の申請から取得まで

1.事前準備

鍵ペア・CSRを生成する前に、事前に以下の項目の準備をしてください。

事前準備

```
1. 乱数生成用ファイルの準備(200KB程度のファイルであればどんなものでもかまいません) 本マニュアルではファイル名をrandfile1.bt、randfile2.
 txt、randfile3.txtとします。
```

- 2. サーバ鍵ペア用私有鍵パスフレーズ<<u>PassPhrase</u>>(「**2-1、2-2**で使用」) 3. サーバ DN (※サーバDNについては、本サービス証明書ポリシまたは、下記DNのルールをご確認ください)
- 4. CSRファイル名は servername.csr としています。

CSRに記述するDNのルールは以下のとおりとなります。

	DNのルール		
項目	指定内容の説明と注意	必須	文字数および注意点
Country(C)	本認証局では必ず「JP」と設定してください。 例)C=JP	0	JP固定
State or Province Name(ST)	「都道府県」(ST)は利用管理者及び利用者が所属する組織の所在地の都道府県名としサービス窓口に事前に 届出したとおりの所在地の都道府県名をローマ字表記で指定してください。この情報は各所属機関の登録担当 者にお問い合わせください。 例)ST=Tokyo	0	STとして指定できる値は下記リンク を参照してください。機関ごとに固 定となります。 UPKI証明書 主体者DNにおける ST および L の値一覧 ※STおよびLが必須。(2020年12月 22日以降)

Locality Name(L)	「場所」(L)は利用管理者及び利用者が所属する組織の所在地の市区町村名とし、サービス窓口に事前に届出 したとおりの所在地の市区町村名をローマ字表記で指定してください。この情報は各所属機関の登録担当者に お問い合わせください。 例)L=Chiyoda-ku	0	Lとして指定できる値は下記リンク を参照してください。機関ごとに固 定となります。 UPKI証明書 主体者DNにおける ST および L の値一覧 ※STおよびLが必須。(2020年12月 22日以降)				
Organizati on Name (O)	サービス参加申請時の機関名英語表記を設定してください。この情報は各所属機関の登録担当者にお問い合わ せください。 例)O=National Institute of Informatics	0	半角の英数字64文字以内 (記号は「'(),/:=」と半角スペース のみ使用可能)				
Common Name(CN)	サーバ証明書URLに表示されるウェブ・サーバの名前をFQDNで設定してください。例えばSSL/TLSを行うサ イトが https://www.nii.ac.jp/ の場合には、「www.nii.ac.jp」となります。FQDNにはサービス参加申請時に登録いただいた対象ドメイン名 を含むFQDNのみ、証明書発行が可能となります。 例)www.nii.ac.jp	0	証明書をインストールする対象サー パのFQDNで64文字以内 半角英数字、"."、"*のみ使用可能。 また、先頭と末尾に"."と"-"は使用不 可				
Email	本認証局では使用しないでください。	×					
	鍵長						
	RSA 2048bit ECDSA 384bit						

○···必須 ×···入力不可 △···省略可

注意:証明書の更新を行う場合は、先に各手順の「サーパ証明書の置き換えインストール」をご確認ください。

2.鍵ペアの生成とCSRの作成(openssl)

2-1 鍵ペアの生成

以下にopensslを使用した場合の鍵ペアの生成方法を記述します。

鍵ペアの作成

RSA鍵の場合

- **1.** 鍵ペアを生成するため、「1.事前準備」の手続き1で用意したファイル (200 KB 程度) を3つ選んでください。この手続きでは、 選択したファイル の名前を「randfile1.txt」、「randfile2.txt」、「randfile3.txt」として表記します。
- 2. 用意したファイルを、作業ディレクトリに移動してください。

\$mv <randfile1.txt> <randfile2.txt> <randfile3.txt> /etc/httpd/conf/ssl.key/

3. 鍵ペアの作成を行うため、次のコマンドを入力してください。今回のコマンド例では、 作業ディレクトリに移動し、2048 bitの RSA 鍵ペアを生成し、「servername.key」という名前で保存することを示しています。

Scd /etc/httpd/conf/ssl.key/ ←作業ディレクトリへ移動してください Sopenssl genrsa -des3 -rand <randfile1.txt>:<randfile2.txt>:<randfile3.txt> 2048 > servername.key

Generating RSA private key, 2048 bit long modulus++++++ unable to write 'random state' e is 65537 (0x10001) Enter pass phrase: *<PassPhrase>*

Verifying - Enter pass phrase: <<u>PassPhrase</u>>

←<u>私有鍵パスフレーズ入力</u> ←<u>私有鍵パスフレーズ再入力</u>

重要: この鍵ペア用私有鍵パスフレーズは、サーパの再起動時および証明書のインストール等に必要となる重要な情報です。鍵ペア利用期間中 は忘れることがないよう、また、情報が他人に漏れることがないよう、安全な方法で管理してください。

4. 作成した鍵ペアのファイルを保存します。バックアップは外部媒体ディスク等に保存し、安全な場所に保存してください。 鍵ペアの中の私有鍵を利用すれば、お使いのウェブ・サーバがSSL/TLS で保護して送受信したデータを、解読することができてしまいます。 従って保存する鍵ペアファイルへのアクセス権は利用管理者自身とSSL/TLS サーバのプロセス等必要最小限になるよう設定してください。 またバックアップを保存した外部媒体ディスク等も利用管理者のみまたは同じ権限のある方のみ利用できる場所へ保管してください。 また、鍵ペア用私有鍵パスフレーズの管理も、確実に行ってください。鍵ペアファイルの紛失、鍵ペア用私有鍵パスフレーズ忘れ等が発生した場 合、証明書のインストールが行えなくなります。 この場合、新たに証明書を申請しなおしていただくことになりますので、ご注意ください。

ECDSA鍵の場合

1. 鍵ペアの作成を行うため、次のコマンドを入力してください。今回のコマンド例では、 作業ディレクトリに移動し、384 bitの ECDSA 鍵ペアを 生成し、「servername.key」という名前で保存することを示しています。

Sopenssl ecparam -name secp384r1 -genkey | openssl ec -out servername.key -des3 read EC key writing EC key Enter PEM pass phrase:<<u>PassPhrase</u>> Verifying - Enter PEM pass phrase:<<u>PassPhrase</u>> ←<u>私有鍵パスフレーズ入力</u> ←<u>私有鍵パスフレーズ再入力</u>

重要: この鍵ペア用私有鍵パスフレーズは、サーバの再起動時および証明書のインストール等に必要となる重要な情報です。鍵ペア利用期間中は忘れることがないよう、また、情報が他人に漏れることがないよう、安全な方法で管理してください。
 作成した鍵ペアのファイルを保存します。バックアップは外部媒体ディスク等に保存し、安全な場所に保存してください。

鍵ペアの中の私有鍵を利用すれば、お使いのウェブ・サーパがSSL/TLS で保護して送受信したデータを、解読することができてしまいます。 従って保存する鍵ペアファイルへのアクセス権は利用管理者自身とSSL/TLS サーバのプロセス等必要最小限になるよう設定してください。 またバックアップを保存した外部媒体ディスク等も利用管理者のみまたは同じ権限のある方のみ利用できる場所へ保管してください。 また、鍵ペア用私有鍵パスフレーズの管理も、確実に行ってください。鍵ペアファイルの紛失、鍵ペア用私有鍵パスフレーズ忘れ等が発生した場 合、証明書のインストールが行えなくなります。

この場合、新たに証明書を申請しなおしていただくことになりますので、ご注意ください。

2-2 CSRの生成

鍵ペアが作成されたことを確認後、CSRを生成します。

CSRの作成

1. 次のコマンドを入力し、CSRの作成を開始してください。パスフレーズの入力が求められますので、「2-1 鍵ペアの生成」の手続き3で作成した私 有鍵のパスフレーズを入力してください。

RSA鍵の場合 コマンドでは、署名アルゴリズムSHA2でCSRを作成し、「servername.csr」(ファイル名は任意)というファイル名で保存することを示してい ます。

\$openssl req -new -key servername.key -sha256 -out servername.csr ←<u>CSRファイル名</u> Enter pass phrase for servername.key: <<u>PassPhrase</u>> ←私有鍵パスフレーズ入力

「-sha256」:署名アルゴリズムを示すオプション。

署名アルゴリズムSHA1でCSRを作成する場合は、「-sha1」に置き換えてください。

ECDSA鍵の場合

コマンドでは、署名アルゴリズムecdsa-with-SHA256でCSRを作成し、「servername.csr」(ファイル名は任意)というファイル名で保存するこ とを示しています。

\$openssI req -new -key servername.key -sha256 -out servername.csr ←<u>CSRファイル名</u> Enter pass phrase for servername.key: <<u>PassPhrase</u>> ←私有鍵パスフレーズ入力

「-sha256」:署名アルゴリズムを示すオプション。

署名アルゴリズムecdsa-with-SHA384でCSRを作成する場合は、「-sha384」に置き換えてください。

2. パスフレーズの入力に成功するとDN情報の問い合わせが行われますので、「1. 事前準備」の「DNルール」に従い、DN情報を入力してください。

OpenSSLでは必要ない項目を「.」ドットを入力することにより、省略することができます。

You are about to be asked to enter information that will be incorporated into your certificate request. What you are about to enter is what is called a Distinguished Name or a DN. There are quite a few fields but you can leave some blank For some fields there will be a default value, If you enter '.', the field will be left blank. Country Name (2 letter code) [AU]:JP ←"JP"を入力 State or Province Name (full name) []:Tokyo ←都道府県名を入力 Locality Name (eg, city) []:Chiyoda-ku ←市町村名を入力 Organization Name (eg, company) [Default Company Ltd]:National Institute of Informatics← 組織名を入力 Organizational Unit Name (eg, section) []:. ← 「.」ドットを入力 Common Name (eg, your name or your server's hostname) []:www.nii.ac.jp ← サーパ名FQDN を入力 Email Address []:. ← 「.」ドットを入力 Please enter the following 'extra' attributes to be sent with your certificate request A challenge password []:.← 「.」ドットを入力 An optional company name []:. ← 「.」ドットを入力

3. 要求された情報の入力が完了すると CSR が生成され、servername.csrに保存されます。なお、このファイルも、バックアップをとって、証明書を受領するまでは別途保管することをお勧めします。

----BEGIN CERTIFICATE REQUEST----

MIIBhDCB7gIBADBFMQswCQYDVQQGEwJKUDEQMA4GA1UEBxMHQWNhZGVtZTEMMAoG 例 Um0E3vq8Ajg= ----END CERTIFICATE REQUEST---- 4. 以下のコマンドを入力することにより、CSRの内容を確認することができます。

RSA鍵で作成したCSRの場合



3.IISを利用したCSRの作成

3-1 CSRの生成

以下にIISを使用した場合のCSRの作成を記述します。

CSRの作成

RSAの場合

1. [スタート] メニューの [すべてのプログラム] をクリックします。[アクセサリ] をクリックして、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。

	🧧 ファイル名を指定して実	(T		×
	2011年1月1日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二	うん名、または 名を入力してく	間くフォルダーやドキュ ださい。	አንኑዴ ብንዎ-
	名前(O):			~
	💔 このタスク	は管理者特核	誰で作成されます。	
		OK	キャンセル	参照(B)
2.	[名前] ボックスに「inet	:mgr」と入:	カし、[OK] をクリ	ックします。
	□ ファイル名を指定して実	ក		×

ファイル名を指定して実行	×
実行するプログラム名、または聞くフォルダーやドキュメント名、 ネット リソース名を入力してください。	<i>イン</i> ター
名前(O): inetmgr のタスクは管理者特権で作成されます。	×
OK キャンセル 参照	ξ(B)

3. インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャーが表示されます。 画面左側の[接続]メニューよりサーバー名をクリックしてください。

👒 インターネット インフォメーション サービス	ス (IIS) マネージャー			- 🗆 X
← → ♥ × スタートページ				📴 🖂 🏠 I 🔞 -
ファイル(F) 表示(V) ヘルプ(H)				
接続	Microsoft インターネット イ アカリケーションサーバーマネ		バョン サービス 10	
3 🍓 JTWEB (JTWEB¥Administrator,	 最近使用した接続 名前 ↓「TWEB 	サー/(- localho	接続タスク ローカルホストに接続 サーバーに接続 サイドに接続 アプリケーションに接続	オンライン リソース IIS ニュースと 情報 IIS グッフロード IIS フォーラム TechNet MSDN ASRNET ニュース Microsoft Web Platform
< >>	■S ニュース S ニュースは単効になって	います。最新のオンラ	5イン ニュースを取得するには、(IIS ニュースの4	IIS ニュースの有効化 与効化] リンクをクリックします。
準備完了				

4. [サーバー証明書]をダブルクリックしてください。



5. [操作]ペインの[証明書の要求の作成]を選択してください。

・ JTWEB ・ 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回 回	鞫 インターネット インフォメーション サービス	(IIS) マネージャー			– 🗆 ×
ファイルドク・ページ サーパー証明書 SQL (2) パレズ提供加いにはないで、 SQL (2) パレズ提供加いにはないで、 アプリケーション ブール アリケーション ブール アリナー マーク・ マーク・ マーク・ マーク・ マーク・ アプリケーション ブール マーク・ マーク・ マーク・	← → ● JTWEB →				📴 🖂 🟠 🔞 -
## ()	ファイル(F) 表示(V) ヘルプ(H)				
> 画 サイト ンパレター: ・ 家 検索(G) ・ 量 すべて表示(A) グループ化: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	接続 ・ ジ ・ アブリケーション ブール	サーバー証明書 SSL に対して構成された Web サイトで 彩を使用します。	・Web サーパーが使用できる証明書を	要求および管理するには、この機	操作 インポート 証明音の要求の作成 証明音の要求の元了
 各前 ▲ 角行先 角行元 角子 高大の延明色の作成… 更新された延明色の自動的な再 パインに在場効にする ヘルプ 	> 🖸 ታイト	ブルター: ・	🤝 検索(G) - 🜄 すべて表示(A)	グループ化:	ドメイン証明書の作成
		名前 < <	発行先	発行元	自己署名入2週明豊の件成 更新された庭明豊の自動的な再 パインドを考めたする
	< >	100 100 HeCu- 10 J7779 CL-			~

6. [証明書の要求]画面で[識別名プロパティ]が表示されますので、[2-2. 事前準備]の[DNルール]に従い、DN情報を入力して[次へ(N)]を押してください。

: National Institute of Informatics	
ά (OU)(U): ment Department	
f(I) (Diveda-ku	
ster cityoua-ku	
R(S): Tokyo	
(R): JP ~	

7	[時号化サービス プロバイダーのプロパティ]が表示されますので
<i>'</i> ·	
	[暗号化サービス ブロバイダー(S)]の欄は[Microsoft RSA Schannel Cryptographic Provider]を選択し、
	[ビット長(B)]の欄は[2048]を選択して[次へ(N)]を押してください。

証明書の要求	?	×
暗号化サービス プロバイダーのプロバティ		
暗号化サービスプロパイダーおよびビット長を指定します。暗号化キーのビット長は、証明書の暗号化の強度を決た ット長が大きいほどセキュリティは高くなりますが、パフォーマンスが低下する可能性があります。 暗号化サービスプロパイダー(S):	定します。ビ	
Microsoft RSA SChannel Cryptographic Provider 🗸 🗸		
ビット長(B):		
2048 ~		
前に戻る(P) 次へ(N) 終了(F)	キャンセ	IL

8. [ファイル名]が表示されますので、 [証明書の要求ファイル名を指定してください(R)]の欄に任意の保存場所を選択して[終了(F)]を押してください。

明書の要求				?	×
ファイル名 异					
証明書の要求のファイル名を指定してください。この情報に	は署名のために証明	月機関に送信される可	総性があります。		
証明書の要求ファイル名を指定してください(R):					
C:¥Users¥Administrator¥Desktop¥servername.csr					
					_

9. 指定した保存場所に生成したCSRが保存されます。



ECDSAの場合

1. [スタート] メニューの [すべてのプログラム] をクリックします。[アクセサリ] をクリックして、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。

💷 7r1.	ル名を指定して実行	×				
0	実行するプログラム名、または聞くフォルダーやドキュメント名、インター ネット リソース名を入力してください。					
名前(0)	:	~				
	〇 このタスクは管理者特権で作成されます。					
	OK キャンセル 参照(B)					

2. [名前] ボックスに「mmc」と入力し、[OK] をクリックします。

ファイル名を指定して実行	×
実行するプログラム名、または聞くフォルダーやドキュメント名、インタ ネット リソース名を入力してください。	7-
名前(O): mmc	~
OK キャンセル 参照(B).	

3. Microsoft Management Console が表示されます。

אן אן-עלבן - און-עלב \overline 🔤	և-ի]					-	
🚟 ファイル(F) 操作(A) 🗄	表示(V) (お気に入り(0)	ウィンドウ(W)	ヘルプ(H)			- 8 ×
🗢 🄿 📷 🗟 🛛	-						
🗀 א-א א-רעכ	名前				1	操作	
		zoťa	-に表示する項	目はありません。	1	コンソール ルート	-
						他の操作	•
					1		

4. [ツールバー] > [ファイル] > [スナップインの追加と削除] を選択してください。

新現作成(N)	Ctrl+N			
間く(0)	Ctrl+O		操作	
上自さ休行(3) 名前を付けて保存(A)	Ctri+S	項目はありません。	コンハール アート	
スナップインの追加と削除(M)	Ctrl+M	3	他の操作	
オプション(P)		_		
1 C:¥Windows¥¥taskschd.msc 2 C:¥Windows¥Svstem32¥certlm.msc				
3 C:¥Windows¥¥services.msc				
4 C:¥Windows¥¥compmgmt.msc				
終了(X)				

5. [利用できるスナップイン] > [証明書] を選択し、[追加]ボタンを押下してください。

I用できるスナップイン(S):			選択されたスナップイン(E):	
スナップイン	ベンダー	^	📖 コンソール ルート	拡張の編集(X)
🥑 タスク スケジューラ	Microsoft Corp			
ディスクの管理	Microsoft and V			64RR(R)
ヨデバイス マネージャー	Microsoft Corp			
愛テレフォニー	Microsoft Corp			上へ移動(U)
◙パフォーマンス モニター	Microsoft Corp			
🎽 フォルダー	Microsoft Corp			下へ移動(D)
∬ ポリシーの結果セット	Microsoft Corp	追加((A) >	
夏ルーティングとリモート アクセス	Microsoft Corp			
🌆 ローカル パックアップ	Microsoft Corp			
磿 ローカル ユーザーとグループ	Microsoft Corp			
🖶 印刷の管理	Microsoft Corp			
1 共有フォルダー	Microsoft Corp			
び 承認マネージャー	Microsoft Corp			
副証明者	Microsoft Corp	~		詳細設定(V)

6. [コンピュータアカウント]を選択し、[次へ]ボタンを押下してください。

証明書スナップイン				×
このスナップインで管理する証明書: 〇 ユーザー アカウント(M) 〇 サービス アカウント(S) ④ コンビューター アカウント(C) ↓				
	<	戻る(B)	次^(N) >	キャンセル

7. ローカルコンピュータ(このコンソールを実行しているコンピュータ)]を選択し、[完了]ボタンを押下してください。

このスナップインで管理するコンピューターを選択してください。	
このスナップインで管理するコンピューター:	
◉ ローカル コンピューター(し): (このコンソールを実行しているコンピューター)	
○ 別のコンピューター(A):	参照(R)
□ コマンド ラインから起動したときは選択されたコンピューターを変更できる これは、コンソールを保存した場合にのみ適用されます。	ようにする(W)

8. 選択されたスナップインに [証明書 - ローカル コンピューター]が表示されていることを確認し、[OK]ボタンを押下してください。

crosoft Corp crosoft and V crosoft Corp crosoft Corp crosoft Corp crosoft Corp			💭 証明書 (ローカル コンビ	3-9-) 前除(R)
crosoft Corp crosoft Corp crosoft Corp crosoft Corp crosoft Corp				前除(R) 上へ移動(II)
crosoft Corp crosoft Corp crosoft Corp crosoft Corp				トへ終調化り
crosoft Corp crosoft Corp crosoft Corp				トへ稼働化り
crosoft Corp				- S 0.5 BUILET
crosoft Corp				T. (0.20(0)
				下へ移動(D)
crosoft Corp		追加(A) >		
crosoft Corp				
crosoft Corp	~			詳細設定(V)
	rosoft Corp rosoft Corp rosoft Corp rosoft Corp rosoft Corp rosoft Corp crosoft Corp	rosoft Corp rosoft Corp rosoft Corp rosoft Corp rosoft Corp rosoft Corp vosoft Corp	rrosoft Corp rrosoft Corp rrosoft Corp rrosoft Corp rrosoft Corp rrosoft Corp rrosoft Corp	irosoft Corp irosoft Corp irosoft Corp irosoft Corp irosoft Corp irosoft Corp irosoft Corp

9. [コンソールルート] > [証明書 - ローカル コンピューター]が表示されていることを確認してください。

 Ξ >>>-ル1 - [>>>-ル ル-ト] Ξ ファイル(F) 操作(A) 表示(V) お気(C) Φ = ● □□ □● □ □ 	スジ(0) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	-	×
	名前	操作	
🙀 証明書(ローカル コンピューター)	🗇 証明書 (ローカル コンピューター)	コンソール ルート	-

10. [コンソールルート] > [証明書 - ローカル コンピューター] > [個人] > [証明書]を選択し、 右クリックメニューから[すべてのタスク] > [詳細設定操作] > [カスタム要求の作成]を選択してください。

コンソールルート	オブジェク	トの種類		操作	
▲ 明智(U- ● 優·	·//// 1763-9-)	このビューに表示する項目はあり	ません。	個人	
> 1	証明書の検索(N)			他の操作	
> 📫 I	すべてのタスク(K) >	証明書の検索(N)			
> 4	表示(V) >	新しい証明書の要求(R)			
> 📫 🖬	ここから新しいウインドウ(W)	インボート(I)			
> 🖺 Ħ > 🗐 fff	新しいタスクパッド表示(T)	詳細設定操作(A) >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	カスタム要求	Q作成(C)	
5 2 7	最新の情報に更新(F)		登録ポリシー	の管理(M)	
> 17	一覧のエクスポート(L)				
> 🗂 U	ヘルプ(H)				
> 🧾 🖬 প্ৰচ	リ豆球実不				
> 🔛 スマート	カードの信頼されたルート Lたデバイス				
> I Web 赤	スティング				

11. [次へ]ボタンを押下してください。

		_		
			Ш	
🔄 証明書の登録				
開始する前に				
次の手順では証明書をインストールします。証明書はデジタル資格情報で、ワイヤレス: 保護、識別情報の確立、およびその他のセキュリティ関連タスクの実行に使用されます。	ネットワーク	への接続、	コンテンジ)Ø
証明書を要求する前に、次の点を確認してください。				
使用するコンピューターがネットワークに接続されている				
証明書を取得する権利があることの確認に使用できる資格情報を持っている	\square			
	次へ	(N)	キャン	t)
カスタム要求]> [登録ポリシーなしで発行する]を選択し、[次へ]ボタンを押 	下してく	ださい。		
カスタム要求]> [登録ポリシーなしで発行する]を選択し、[次へ]ボタンを押	下してく	ださい。 ー		
カスタム要求]> [登録ポリシーなしで発行する]を選択し、[次へ]ボタンを押	下してく	ださい。 ー		
カスタム要求]> [登録ポリシーなしで発行する]を選択し、[次へ]ボタンを押 軍 証明書の登録 証明書の登録ポリシーの選択	下してく	ださい。 -		
カスタム要求]> [登録ポリシーなしで発行する]を選択し、[次へ]ボタンを押 電 証明書の登録 証明書の登録ポリシーの選択 証明書の登録ポリシーは、あらかじめ定義された証明書テンプレートに基づく登録を可能 証明書の登録ポリシーは既に構成されていることがあります。	下してく	ださい。 -		t,
カスタム要求]> [登録ポリシーなしで発行する]を選択し、[次へ]ボタンを押 記明書の登録 証明書の登録ポリシーの選択 証明書の登録ポリシーは、あらかじめ定義された証明書テンプレートに基づく登録を可能 証明書の登録ポリシーは既に構成されていることがあります。 ユーザーが構成します	下してく	ださい。 ー	 □ Sector 新規 	
カスタム要求]> [登録ポリシーなしで発行する]を選択し、[次へ]ボタンを押 電 証明書の登録 証明書の登録ポリシーの選択 証明書の登録ポリシーは、あらかじめ定義された証明書テンプレートに基づく登録を可能 証明書の登録ポリシーは読に構成されていることがあります。 ユーザーが構成します カスタム要求	下してく	ださい。 ー	□ 含によって! 新規調	
カスタム要求]> [登録ポリシーなしで発行する]を選択し、[次へ]ボタンを押 ご 証明書の登録 証明書の登録ポリシーの選択 証明書の登録ポリシーは、あらかじめ定義された証明書テンプレートに基づく登録を可能 証明書の登録ポリシーは既に構成されていることがあります。 ユーザーが構成します カスタム要求 登録ポリシーなしで続行する	下してく	ださい。 ー	 合によってし 新規3 	
カスタム要求]> [登録ポリシーなしで発行する]を選択し、[次へ]ボタンを押 電 証明書の登録 証明書の登録ポリシーの選択 証明書の登録ポリシーは、あらかじめ定義された証明書テンプレートに基づく登録を可能 証明書の登録ポリシーは既に構成されていることがあります。 ユーザーが構成します カスタム要求 登録ポリシーなしで続行する	下してく	ださい。 -	□ 含によって(新規3	
カスタム要求]> [登録ポリシーなしで発行する]を選択し、[次へ]ボタンを押 記明書の登録 証明書の登録ポリシーは、あらかじめ定義された証明書テンプレートに基づく登録を可能 証明書の登録ポリシーは就に構成されていることがあります。 ユーザーが構成します カスタム要求 登録ポリシーなしで続行する	下してく	ださい。 ー	 合によってし 新規3 	(t
カスタム要求]> [登録ポリシーなしで発行する]を選択し、[次へ]ボタンを押 軍 証明書の登録ポリシーの選択 証明書の登録ポリシーは、あらかじめ定義された証明書テンプレートに基づく登録を可能 証明書の登録ポリシーは既に構成されていることがあります。 ユーザーが備成します カスタム要求 登録ポリシーなしで続行する	下してく	ださい。 -	□ 含によって(新規3	
カスタム要求]> [登録ポリシーなしで発行する]を選択し、[次へ]ボタンを押 ご 証明書の登録ポリシーの選択 証明書の登録ポリシーは、あらかじめ定義された証明書テンプレートに基づく登録を可能 証明書の登録ポリシーは就に構成されていることがあります。 ユーザーが構成します カスタム要求 登録ポリシーなしで続行する	下してく	ださい。 ー	 合によって) 新規3 	は.
カスタム要求]> [登録ポリシーなしで発行する]を選択し、[次へ]ボタンを押 記明書の登録ポリシーの選択 証明書の登録ポリシーは、あらかじめ定義された証明書テンプレートに基づく登録を可称 証明書の登録ポリシーは既に構成されていることがあります。 ユーザーが構成します カスタム要求 登録ポリシーなしで続行する	下してく	ださい。 ー	□ 含によって 新規道	(は、
カスタム要求]> [登録ポリシーなしで発行する]を選択し、[次へ]ボタンを押 ご 証明書の登録ポリシーの選択 証明書の登録ポリシーは、あらかじめ定義された証明書テンプレートに基づく登録を可能 証明書の登録ポリシーは説に構成されていることがあります。 ユーザーが構成します カスタム要求 登録ポリシーなしで続行する	下してく	ださい。 ー	□ 舎によって 新規道	は.
カスタム要求]> [登録ポリシーなしで発行する]を選択し、[次へ]ボタンを押 ご 証明書の登録ポリシーの選択 証明書の登録ポリシーは、あらかじめ定義された証明書テンプレートに基づく登録を可能 証明書の登録ポリシーは既に構成されていることがあります。 ユーザーが構成します カスタム要求 登録ポリシーなしで続行する	下してく	ださい。 ー	□	(は、

13. 以下を選択し、[次へ]ボタンを押下してください。 テンプレート : [(テンプレートなし)CNGキー] 要求の形式 : PKCS#10

	-		×
🔄 証明書の登録			
カスタム要求			
下の一覧からオプションを1つ選択し、必要に応じて証明書のオプションを構成してください。			
テンプレート: (テンプレートなし) CNG キー		~	·
□ 課定の拡張機能の抑制(S)			
● CWC(D)			
注意: キーのアーカイブは、このオプションが証明書テンプレートに指定されている場合でも、カスタ/ 明書では利用できません。	証明書要	求に基づ	証
次	\(<u>N</u>)	キャン	セル

14. [詳細]を押下してください。

副 証明書の登録		-		×
証明書情報 このテンプレートに対して既に選択されて 詳細をクリックレードに対してのに選択されて	いるオプションを使用する場合は [次へ] を、証明 イグキン	書要求をカスタマイ)	/する場合] 5]2
☑ 加スタム要求	(1) 状態: 利用可能		詳細	×
		次へ(N)	キャン	セル

📮 証明書の登録		-		×
証明書情報 このテンプレートに対して既に選択されている 詳細 をクリックレードへ入をクリックしてく	ōオブションを使用する場合は[次へ]を、証明書要: ≍31.)	求をカスタマイ	ズする場る] \$]송
✓ カスタム要求 次のオプションは、この種類の証明報 キー使用法: アプリケーション ポリシー: 有効期間(日数):	(1) 状態: 利用可能 目に適用される使用法と有効期間を表します:	Ť	詳細 ロパティ(P)	^

16. サブジェクトタブを選択後、以下を選択し、[追加]ボタンを押下してください。

種類:「完全なDN」 値 :指定したい主体者DNを入力(例:CN=www.nii.ac.jp,O=National Institute of Informatics,L=Chiyoda-ku,ST=Tokyo,C=JP)

証明書のプロパティ				×
全般 サブジェクト 拡張機能 秘密キー				
全般 9 / 91 / P 拡張機能 秘密キー 証明書のサブジェクトとは、証明書の発行先であるユーザーまた 証明書のサブジェクト 証明書を受け取るユーザーまたはコンピューター サブジェクト名: 種類(T): 完全な DN 値(V): CN=www.nii.acjp,O=National Institute of Informat 別名: 種類(Y):	たはコンピューターです。証明書 追加 > < 削除	で使用可能なサブジ	エクト名の種類と別名	;の値に関する情
ディレクトリ名 ~ 値(U):	追加 > < 削除			
		ОК	キャンセル	適用(A)

17. 上記の入力内容が、右側のリストに表示されていることを確認し、[OK]ボタンを押下してください。

正明書のプロパティ				
全般 サブジェクト 拡張機能 秘密キー				
証明書のサブジェクトとは、証明書の発行先であ 報を入力できます。 証明書のサブジェクト 証明書を受け取るユーザーまたはコンピューター	るユーザーまたはこ	コンピューターです。証明	書で使用可能なサブジェクト名の種類と別名の値に関す	·る情
サブジェクト名:				
種類(T):			CN=www.nii.ac.jp	
完全な DN	~	追加 >	L=Chiyoda-ku	
值(V):		~削除	ST=Tokyo	
		< 111MV	C=1b	
別名:				
種類(Y):				
ディレクトリ名	~			
值(U):				
		the fire		
		追加 >		
		< 削除		
		- 1721-0-		
			OK キャンセル 適用((A)

18. プロパティボタンを押下してください。

〕証明書の登録		_	U	
証明書情報		***		
このデンフレードに対して観日選択されている。 詳細] をクリックし、[次へ] をクリックしてくださ つ カスタム要求 次のオプションは、この種類の証明書((シンヨンを逆用する場合は(シハ)を、証明音奏な さい。	KEUA7 (1.	「「「「「「」」	•
キービカス: アプリケーション ポリシー: 有効期間 (日数):		Ť]/(ティ(P)	

19. 秘密キータブを選択しください。 暗号化サービスプロバイダーとハッシュアルゴリズムの選択の詳細を表示してください。 以下が選択されていた場合、チェックを外してください。 暗号化サービスプロバイダー:RSA,Microsoft Software Key Storage Provider

証明書のプロパティ 🔓	>
全般 サブジェクト 拡張機能 秘密キー	
時号化サービスプロパイダー(C) CSP は、多数の証明書間連プロセスで使用される公開キーと秘密キーの紙を生成するプログラムです。 緯号化サービスプロパイダー (CSP) を選択してください:	
RSA, Microsoft Software Key Storage Provider	^
UH, Microsoft Software Key Storage Provider	
DSA, Microsoft Software Key Storage Provider	
ECDH, Microsoft Software Key Storage Provider	
ECDH_brainpoolP160r1,Microsoft Software Key Storage Provider	
ECDH_brainpoolP160t1,Microsoft Software Key Storage Provider	~
キーのオプション(O) ハッシュ アルゴリズムの選択(H) この要求に使用されるハッシュ アルゴリズムの選択	• •
ハッシュ アルゴリズム: 統定のアルゴリズム ~	
署名の形式の選択(F)	¥
キーのアクヤフ 阵司(の)	
1-0772761-3(7)	

20. 以下を選択し、[OK]ボタンを押下してください。

IIS10の場合 暗号化サービスプロバイダー: ECDSA_secp384r1,Microsoft Software Key Storage Provider IIS7.5~8.5の場合 暗号化サービスプロバイダー: ECDSA_P384,Microsoft Software Key Storage Provider ハッシュアルゴリズムの選択: sha384

証明書のプロパティ		2
全般 サブジェクト 拡張機能 秘密キー		
暗号化サービス プロパイダー(C)		^
CSPは、多数の証明書関連プロセスで使用される公開キーと秘密キーの組を生成するプ	ログラムです。	
暗号化サービス プロパイダー (CSP)を選択してください:		
LLUSA_secP224r1,Microsoft Software Key Storage Provider		^
ECDSA_secP256k1, Microsoft Software Key Storage Provider		
ECDSA_secP256r1, Microsoft Software Key Storage Provider		
ECDSA_secP384r1, Microsoft Software Key Storage Provider		
ECDSA_secP521r1, Microsoft Software Key Storage Provider		
ECDSA_wtls7,Microsoft Software Key Storage Provider		
T COCA		*
すべての CSP の表示(S)		
to a definition of the second		
キーのオフション(ロ)		*
ハッシュ アルゴリズムの選択(H)		
この要求に使用されるハッシュアルゴリズムの選択		
バッシュ アルゴリズム (ha384)		
anator		b
署名の形式の選択(F)		•
キーのアクセス許可(P)		*
	0V (1940)	(本田/A)
	01 49721	18/6(A)

21. [OK]ボタンを押下してください。

								-		
😱 証明書	の登録									
ал н	田聿樓:	a								
gill 7	77 61 1914	9K								
この 詳細	テンプレート 町 をクリン:	に対して読に 7し、[次へ] そ	選択されてい ミクリックしてく	るオプションそ ださい。	を使用する場合	sは[次へ] を、)	証明書要》	求をカスタマイ	ズする場る	61
	🛛 ክスタム	要求			(1) 状態:	利用可能			詳細	1
	次のオブ	ションは、この	種類の証明	書に適用され	れる使用法と想	「効期間を表し	ます:			
	キー	史用法: リケーション ポ	U9-:							
	有文	期間(日数);							
								プ	ロノ(ティ(P)	
										_
ファイル: ファイル] 宅了]ボタ	名]に任意 形式]は[E ンを押下	のファイル Base 64]を してくだ	レ名を含む 選択します さい。	保存先の ⁻ 「。	フルパスを)	入力します。	2	欠へ(N)	+72	セ
ファイル: ファイル : 宅了]ボタ	名]に任意 形式]は[E ンを押下	(のファイ) Base 64]を してくだ	レ名を含む 選択します さい。	保存先の ⁻ 。	フルパスをジ	入力します。	3	欠へ(N) 一	- +*/	セ
ファイル* ファイル] 宅了]ボタ	名]に任意 形式]は[E ンを押下	(のファイ) Base 64]を 「してくだ	レ名を含む 選択します さい。	保存先の ⁻ 。	フルパスをジ	入力します。	3	፳^(N) —		セ
ファイル: ファイル引 宅了]ボタ	名]に任意 形式]は[E ンを押下	(のファイ) Base 64]を 「してくだ」	レ名を含む 選択します さい。	保存先の ⁻ 。	フルパスをジ	入力します。	3	፳^(N) —	- +*/	セ
ファイル: ファイル 宅了]ボタ	名]に任意 形式]は[E ンを押下 動の登録	のファイ. Base 64]を してくだ	レ名を含む 選択します さい。	保存先の ⁻ 。	フルパスを	入力します。	3	₹^(N) —	-	セ
ファイル: ファイル 宅了]ボタ マ 証明者	名]に任意 形式]は[E ンを押下 動の登録 パライン要	(のファイ) Base 64]を してくだ 「 求を保存	レ名を含む 選択します さい。	保存先ので。	フルパスを注	入力します。	2	₹^(N) —	0	セ
ファイル: ファイル 宅了]ボタ 国 証明書 オフ	名]に任意 形式は[E シを押下 動の登録 バライン男	(のファイ) Base 64]を してくだ 求を保存	レ名を含む 選択します さい。	保存先のう	フルパスを; てください。	入力します。		<u>π</u> ^(N) −	-	-
ファイル: ファイル) 宅了 ボタ 二 証明信 オフ 証明	名]に任意 ド式は[E シを押下 動の登録 7ライン要 月書 証明書	(のファイ) Base 64]を してくだ してくだ マレビーを保存 専家の場所	レ名を含む 選択します さい。 する場所 するか、この引 と名前を入	保存先の 。 を指定し 駅でを 約し、[完了]	フルパスを; てください。 0.理する場合に をクリックしてく	入力します。 、要求をハード ださい。	2	≂~(N) −	-+++ 	
ファイル・ ファイル ママイル 記 記 明 記 の 記 明 記 ま	名]に任意 (EI (EI (EI (EI)) (日 (EI)) ((のファイ) Base 64]を してくだ してくだ マンピーを保存 要求の場所	レ名を含む 選択します さい。 する場所 するか、この3 と名前を入り	保存先の 「。 を指定し 東京を後で執 りし、[完了]	フルパスを; てください。 0.理する場合に をクリックしてく	入力します。 た要求をハード ださい。	2 7712/7#1			
ファイル: ファイル マアイル モア]ボタ ご 証明書 オフ 証明 しま	名]に任覚 (石) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	(のファイ) Base 64]を してくだ してくだ マレーを保存 要求の場所	レ名を含む 選択します さい。 する場所 するか、この3 と名前を入っ	保存先の 。 を指定し 、 、	フルパスを; てください。 0理する場合に をクリックしてく	入力します。 、要求をハード ださい。	2 7712/781	≂ :tiy6-/(プ)		1
ファイル・ ファイル・ 宅了」ボタ 電 証明書 よう 正明	名]に任意 形式 を 押 下 動 登録 7 ライン 要 取 目 書 証 明 書 (1 名) に 任意 [[[[[[] に 日 (二 (二) (二) (二) (二 (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) ()) () ((のファイ) Base 64]を してくだ マママズ マママイ ママイ ママイ ママイ ママイ ママイ ママイ マイ マ マイ シ ママイ シ ママイ シ ママイ シ ママイ シ ママイ シ ママイ シ ママイ シ ママイ シ ママイ シ マ ママイ シ マ マ マ マ	レ名を含む 選択します さい。 する場所 するか、この3	保存先の 。 を指定し 東求を後で気 りし、[完了]	フルパスを; てください。 0理する場合に をクリックしてく	入力します。 、要求をハード ださい。	2 712/9#1	≂^(N) - ±t#IJ&-/(⊅)		1
ファイル・ ファイル ママイル 記 記 で 記 明 信 オフ 証明 しま	名]に任覚 形式は[E] シを押下 9の登録 7ライン要 月書証明書 (11名: Users¥Ad	でのファイ/ Base 64]を してくだ マママス マママス マママイ ママイ ママイ ママイ ママイ マ マイ マ	レ名を含む 選択します さい。 する場所 するか、この引 と名前を入り (Desktop¥se	保存先の っ を指定し 東求を後で残 りし、[完了]	フルパスを; てください。 0.理する場合に をクリックしてく csr	入力します。 た.要求をハード ださい。	2 7712/781	<u>~</u> (N) ::tiu/(ブ)	ー ロ 単 メディア() 参照(B)	
ファイル: ファイル ママイル ママイル ママイル ママイル ママイル ママイル ママイル マ	名]に任意 形式を押 ンを押 ううイン要 利書 証明書 (11名: UsersWAd	のファイ Base 64]を してくだ ママンドーを保存 要求の場所	レ名を含む 選択します さい。 する場所 するか、この引 と名前を入っ (Desktop¥se	保存先の 。 を指定し 転求を後で救 りし、[完了]	フルパスを てください。 の理する場合に をクリックしてく csr	入力します。 、要求をハード ださい。	2 712/2#1	ר (N) בודוער-/(ל)	ー レメディア() 夢照(B)	:#
ファイル・ ファイル ママイル ママイル ママイル ママイル マー を明 の に マ イル マイル マイル ジ マイル ジ マイル ジ マイル ジ マイル ジ マイル ジ マイル ジ マイル ジ マイル ジ マイル ジ マイル ジ マ マ マ ー (マ マ ー 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	名]に任意 形式] に ンを押 うう うう イン要 明 書 証 明 書 (11名: (11名:) 3856 64(A)	(のファイ) Base 64]を してくだ マンピーを保存 Pま求の場所 ministrator	レ名を含む 選択します さい。 する場所 するか、この引 と名前を入り (Desktop¥se	保存先の っ を指定し 要求を後で救 りし、[完了]	フルパスを; てください。 む理する場合に をクリックしてく csr	入力します。 t、要求を/lード ださい。	2 712,9\$\$	<u>~</u> _ - - - -	+ヤノ レ メディア() 夢照(B)	:1
ファイル: ファイル マアイル を了]ボタ で 部 の に い の の の の の の の の の の の の の の の の の	名]に任覚 形 式]は[[加 下 一 一 一 一 一 二 二 二 二 二 二 二 に に 「 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	ase 64]を してくだ 、 求を保存 PJビーを保存 P要求の場所 ministrator	レ名を含む 選択します さい。 する場所 するか、この引 と名前を入力	保存先の 。 を指定し 東京を後で想 りし、[完了]	フルパスを; てください。 0.理する場合に をクリックしてく csr	入力します。 t、要求を/lード ださい。	2 7712/9#1	≂ 	ー レメディアに 参照(B)	
ファイル・ ファイル ママイル ママイル ママイル マイル マー マー マー マー マー マー マー マー マー マー マー マー マー	名]に任意 形式は[E] ア の登録 7 ライン男 の 日 妻 証 明 君 妻 証 明 君 妻 歌 明 君 ま に (に に に に に に に に に に に に に に の の で の の の の	スのファイ/ Base 64]を してくだ ママンズ ママンズ マンズ マンズ マンズ マンズ マンズ マンズ マンズ マ	レ名を含む 選択します さい。 する場所 するか、この引 と名前を入た	保存先の 。 を指定し 東求を後で熱 りし、[完了]	フルパスを) てください。 e理する場合に をクリックしてく csr	入力します。 た.要求をハード ださい。	2 7129\$\$	≂ :tiJi4-7(7)	ー レメディア() 参照(B)	tt
ファイル: ファイル ママイル ママイル ママイル ママイル ママイル ママイル ママイル マ	名]に任意 形式は[E] シを押 うう うう イン 要 の 登録 7 う イン 要 求明 書 、	スのファイ/ Base 64]を してくだ ママスだ ママス ママス ママイ ママイ ママイ ママイ ママイ マ マ マ マ マ マ	レ名を含む 選択します さい。 する場所 するか、この引 と名前を入り (Desktop¥se	保存先の 。 を指定じ 東求を後究了) envername.	フルパスを てください。 e理する場合に をクリックしてく csr	入力します。 た.要求をハード ださい。	2 7712/781	ר (N) בודיונה-ו(לו	+ヤソ レ メディア() 参照(B)	12 12
ファイル・ ファイル ママイル ママイル ママイル ママイル ママイル ママイル ママイル マ	名]に任意 形式を押 シを押 ううイン要 引うイン要 の登録 7ライン要 の す。 記 明 書 証 明 書 記 に に に に に に に に い に に に に り つ う イン要 、 家 明 す。 の う に の い の の の の の の の の の の の の の の の の の	スのファイ/ Base 64]を してくだ ママスだ ママスを保存 フレビーを保存 要求の場所	レ名を含む 選択します さい。 する場所 するか、この引 と名前を入っ (Desktop¥se	保存先の 。 を指定し 駅家を後で教 りし、[完了]	フルパスを てください。 の理する場合に をクリックしてく	入力します。 た要求をハード ださい。	7712/2#	ר (N) בנו עני-/(ל	+ヤソ レ メディア() 夢照(B)	12 14
ファイル: ファイル マアイル を つ 、 で の の の の の の の の ファイル ジョイル ファイル ジョイル ジョイル ジョイル ジョイル ジョイル ジョイル ジョイル ジョ	名]に任意 ドンを押 シを押 ううイン要 の 登録 7ライン要 の 予 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	ase 64]を してくだ 求を保存 つビーを保存 調要求の場所	レ名を含む 選択します さい。 する場所 するか、この ま と名前を入た (Desktop¥se	保存先の 。 を指定し 東京を後で想 りし、[完了]	フルパスを; てください。 0.理する場合に をクリックしてく csr	入力します。 た、要求を/lード ださい。		<u></u> ~(N) 	ー レメディアに 参照(B)	12 12
ファイル・ ファイル ママイル 記 記 明 の に の の の	名]に任意 形式は[E] シを押 ううイン要 月書 配 明書 (山名: UsersWAd (山形式) Sase 64(A) (コンワロ)	スのファイ/ Base 64]を してくだ マママス マママス マママス ママイス ママイス マイク ママイク ママイク	レ名を含む 選択します さい。 する場所 するか、この引 と名前を入 つ Desktop¥se	保存先の 。 を指定し 東京を後で刺 りし、[完了]	フルパスを; てください。 0.理する場合に をクリックしてく CST	入力します。 た要求をハード ださい。	2 712/2#1	ביגושע-י(ל)	+ヤソ レメディア() 夢照(B)	セ こ 行
ファイル: ファイル マアイル マアイル マイル マイル マイル マイル マイル マイル マイル マイル マイル マ	名]に任意[形式] シを押 うう うう イン要 の 登録 7 う イン要 の 登録 7 フ イン要 の 登録 7 フ イン要 の で 期 7 フ イン要 の で 期 7 フ イン要 の で 期 7 、 の う イン要 の で 期 7 、 の う の で の の の の の の の の の の の の の の の の	ase 64]を してくだ 求を保存 可ビーを保存 調要求の場所	レ名を含む 選択します さい。 する場所 するか、この引 と名前を入た (Desktop¥se	保存先の 。 を指定し 東京を後で想 りし、[完了]	フルパスを; てください。 0.理する場合に をクリックしてく csr	入力します。 た.要求をハード ださい。		欠へ(N)	キャン レメディア(2) 参照(B)	200

23. 指定した保存場所に生成したCSRが保存されます。



4.証明書の申請から取得まで

CSRを作成後、登録担当者へ送付するための証明書発行申請TSVファイルを作成し申請します。

証明書発行申請TSVファイルの作成方法、申請方法等につきましては、「**証明書自動発行支援システム操作手順書(利用管理者用)**」をご確認ください。 TSVファイル作成用Webアプリケーション(TSVツール)を提供しておりますので、ご利用ください。 証明書の発行が完了すると、本システムより以下のメールが送信されます。メール本文に記載された証明書取得URLにアクセスし、証明書の取得を実施 してください。

証明書取得URLの通知
【件名】 Webサーバ証明書発行受付通知
<mark>#以下に証明書の取得先が記述されています。</mark> 貴機関の登録担当者経由で発行申請をいただきましたサーバ証明書を配付いたします。 本日から1ヶ月以内に以下の証明書取得URLへアクセスし、サーバ証明書の取得を行ってくださ い。 証明書取得URL:
<u>https://scia.secomtrust.net/~</u> ← 左記URLにアクセスし証明書の取得を行ってください。